

新しい市議会への思いを語る

二〇〇五年二月二十八日に津山市に加茂町・阿波村・勝北町・久米町が「編入合併」されてきます。

現在の津山市が形成されたのが一九五五年・昭和三十年ですから、五十年間の歴史を閉じて、新しい津山市になる一つの歴史の区切りを通過します。そこで、合併時期における記念すべき時期に市議会を構成していた「各党派」の合併への思いを書いてもらいました。順序は抽選できめています。

五十年間における市議会も、決して平坦な歩みではありませんでした。様々な思い出を残して、色んな出来事も歴史の流れの一端として・・・そして、新生津山への期待でもあります。

市議会だより編集委員会

日本共産党津山市議員



末永弘之 久永良一 美見みち子

三人の議員団（平成十一年四月から四年間
は二人）が、市民の皆さんに大変お世話になりました。紙面をお借りして、まず最初に心より御礼を申し上げます。

私も三人の力は微力ですがいつの時も「住民が主人公」の立場で皆さんと共に歩んでこられた事をうれしく誇りに感じています。さて、振り返ると可燃ごみ週二回収集の実施、児童館の増設、非核・平和の取り組み等、つい昨日の事のように思い出されます。アルネ津山の大難題を抱えての新津山市の出発は難航続きの予想ですが「住んでよかった」と言える町を一緒に作りましょう。

公明党津山市議員



岡安謙典 川端恵美子 仁木豊司

新年を迎え、皆様には日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。私達公明党市議員も二〇〇五年の初春を元気に迎えることができました。昨年は津山市でも台風二十三号など四回にわたる大型台風の直撃を受け甚大な被害を被りました。激甚災害の指定を受け、復旧の取り組みが始まっていますが、引き続き被災者の支援に尽くして参ります。また市においても、市町村合併、アルネ問題、総合処理センターなどの重要課題がありますが、本年はそれぞれの問題に決着をつけ、新生津山に大きく船出する年となります。私達も津山再生、地域再生に一丸となって尽力し前進して参ります。

清風会



岡田康弘 勝山 修 谷口圭三

いよいよ二月二十八日に新生津山市が一市三町一村で誕生します。この度の合併において、様々な課題をクリアするために、ご尽力をいただきました町村関係者の方々に深く敬意を表する次第です。合併の根幹を成すのは、行財政改革であり、議会として行政運営の効率化がいっそう図れるようチェック機能を高めていかななくてはならないと考えます。と同時に、合併協議会で決定されました新市建設計画を基本とした、新市総合計画を策定し、各地域の振興、発展に全力を尽くしたいと決意を新たにしております。今後ともよろしくお願いいたします。